

学校でできる省エネ(概要)

文教施設企画部参事官(技術担当)

背景・経緯

昨今の地球温暖化や東日本大震災による電力不足といった問題を受け、学校にも一層の省エネルギー対策が求められています。

全国で数多くある学校それぞれが省エネルギー対策を推進することで、エネルギー使用量の削減に大きな効果があると考えられます。

学校で活用できる省エネ資料を作成するため、学校の実情に詳しい学校事務職員と意見交換を行い、学校関係者が「わたしにできる省エネ対策」を見つけられるよう作成しました。

冊子のポイント

●それぞれの役割

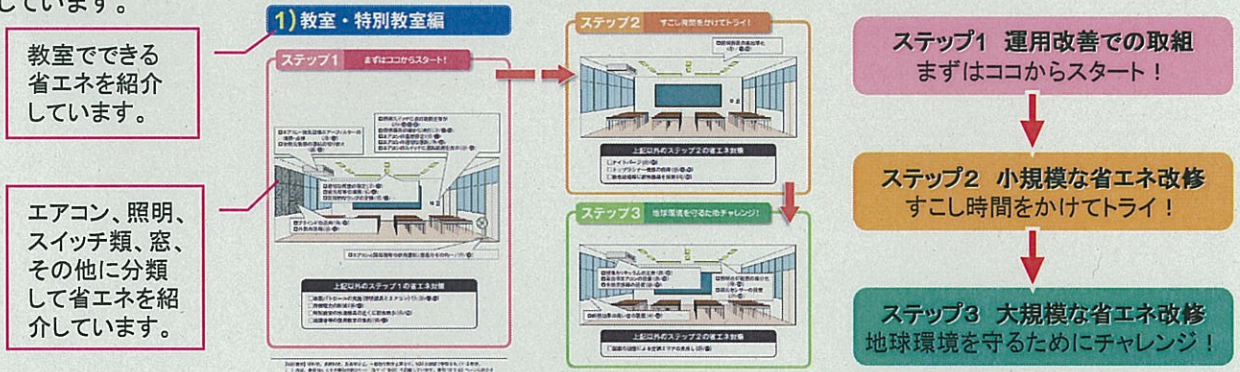
教育委員会、校長、教員、事務職員等、給食調理、児童・生徒といった学校関係者ごとに、省エネを推進するための役割を明確にしました。

役割の明確化

省エネ実践者	役割
教育委員会	地域の学校のエネルギー管理統括者として、管理体制を整備し、取組方針の整備と実施により、省エネを推進して下さい。
校長	学校の責任者として、学校全体の省エネ推進体制の整備や教員、事務職員等への啓発により、リーダーとして取り組んで下さい。
教員	他の省エネ実践者と協力しながら、担当する教室等の省エネに取り組んで下さい。
事務職員等*	校長を補佐すると共に、他の省エネ実践者と協力しながら、学校全体の省エネに取り組んで下さい。
給食調理員*	他の省エネ実践者と協力しながら、給食室の省エネに取り組んで下さい。
児童・生徒	教員の指導のもと、友達と協力しながら、自分たちが使っている教室等の省エネに取り組んで下さい。

●段階的な取組

学校関係者が、自分に実践できる省エネ対策を判断できるよう、取組段階(ステップ)に分けて省エネ事例を紹介しています。



●実践事例を紹介

学校でできる省エネ対策を図解で紹介しています。(58事例)

省エネに取り組む学校の参考となるよう、導入しやすさ(レベル)、省エネ効果を示し、また実際に学校で実践されている省エネ対策事例も紹介しています。

ステップ1 ～照明編～

照明スイッチに点灯範囲を表示する

教室、特別教室で取り組むことが出来ます。

→ 照明の点灯範囲を利用者が認識できるように設置する点灯エリアを表示しましょう。

→ 障れた目の窓側や昼休み中は消灯するなどをスイッチに明示し、スイッチのオンオフのルールを決めましょう。

【実践事例】一つの学校ではこうやってます～

照明の点灯範囲を照明スイッチにあわせて作成し、直接スイッチプレートに貼り付けました。

【導入しやすさ(レベル)】

→ 導入しやすい

→ 導入が難しい

→ 導入が難しい

【省エネ効果】

→ 照明の点灯範囲を狭くすることで、照明の消費電力を削減し、省エネ効果があります。

この省エネ対策が実践できたらチェック

学校関係者ごとに省エネ事例を紹介しています。

導入しやすさ(レベル)、省エネ効果を示しています。

学校での省エネ実践事例を紹介しています。